

ハサンベツの里山探検



7月31日(水)、当初は屋外での活動を予定していましたが、朝からの小雨模様で講師の高橋さんと打合せをして、最初に雨天プログラムのおオムラサキ館での見学・活動、そのあと天候をみてハサンベツの里山に移動して昆虫採集等の活動をしました。

おオムラサキ館では、ナナフシやアオダイショウにふれたり、飼育舎ではアゲハチョウやおオムラサキの観察をしたりしました。おオムラサキ館からはバスで10分もかからないハサンベツの里山では、高橋さんからアブの話、建物の屋根裏に作られているスズメバチの巣などの話などを聞いたあと、昆虫採集を1時間ほどしました。オスメスの見分け方に詳しい子、オニヤンマを捕まえるのがうまい子、クワガタやバッタを捕まえた子などおり、充実した時間をすごしました。午後は捕まえた昆虫についての解説を聞き、自分たちの手で逃がしてあげました。

活動の最後に高橋さんが、もう何十年後かに地球上の昆虫の半数が「絶滅危惧種」になる、という話をされ、子どもたちは真剣に聞き入っていました。



＜参加者＞

小学生 7名・保護者2名 計9名

＜指導者＞

岩見沢郷土科学館

管理指導員 東 道生・富岡 哲也

みなさん、ご参加ありがとうございました。